

音楽科

音楽科（一般）について、以下の観点に基づき、発行者ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 音楽科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- 3 興味・関心や生活経験に目を向けた題材や内容構成で、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- 4 我が国および諸外国における教育的・芸術的に価値のある楽曲が取り上げられ、音楽のよさや美しさに触れ、豊かな情操を養うことができるよう教材が工夫されていること。
- 5 「表現」及び「鑑賞」に関する内容相互の関連が図られるとともに、授業時数に照らして、全体の分量や難易度が適切であること。
- 6 多様な音楽のよさや美しさを味わうことを通して、我が国や諸外国の音楽文化の豊かさに気づき、尊重する態度の育成を図るとともに、和楽器を含めた伝統音楽への関心を育てるよう配慮されていること。
- 7 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- 8 題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。
- 9 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 10 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

音楽科（一般）

調査研究の結果の概要

■教育出版「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3下 音楽のおくりもの」

教材ごとに、具体的な学習活動の手がかりとなる「共通事項」が具体的に示されており、目次には目標ごとに教材がまとめて掲載されるなど、学ぶ目的がわかりやすい。また、歌い継がれてきた日本の楽曲について、情景を具体的にイメージしやすい写真が豊富に用いられるとともに、様々に編曲され、異なる味わいを感じられるよう工夫されている。発声や編成についても、生徒にわかりやすく示されている。

「聞き比べてみよう」などのコーナーで、教材ごとに楽曲等について考えたことや比較鑑賞したことについて、直接書き込む欄が設けられており、言語活動への工夫がみられるが、生徒に気付かせたい内容が、同じページの中に書かれているため、思考力や判断力を促す構成となっていない。また、直接書き込む欄についても、欄が狭かったり、設けられていなかったりする楽曲があるため、言語活動の展開につながりにくい。

創作活動では、器楽分野と関連付けながら表現活動を行う教材が提示されており、鑑賞活動では、リード文を示すことで学習内容や学習活動の見通しをつかみやすい。また、楽譜が多く掲載されるなど、音楽のよさや美しさに触れるための教材が豊富に設定されている。さらに、身近な音楽を意識させるとともに、生活と音楽との結びつきや音楽が人生を豊かにすることを気づかせるよう十分に配慮されており、著作権をはじめとする権利関係についても、生徒目線のわかりやすい説明がなされている。

和楽器を含めた伝統音楽については、写真を大きく掲載し理解を深めるとともに、表現活動と関連付けて学習できるよう工夫されている。

レイアウトについて、生徒に活動のヒントを与える吹き出しの改行が、「いろ/いろ」「声/に出して」のように文節の途中で改行されているところがあり、特に支援が必要な生徒には理解しにくい。

「選定の視点」の評価結果：◎2 ○26 △2

■教育芸術社「中学生の音楽1」「中学生の音楽2・3上」「中学生の音楽2・3下」

「音楽学習MAP」や目次において、学習内容の全体像や目標が示されているとともに、各教材に学習目標と具体的な学習活動の手がかりとなる「共通事項」が示されるなど、学習の目標と見通しがわかりやすい。また、言語活動を通して、思考力・表現力を高める活動が展開しやすことが特徴的である。さらに、歌い継がれてきた日本の楽曲について、すべてに縦書きの歌詞が掲載されており、音楽のよさや美しさとともに、日本語の美しさやリズム・韻などに触れる展開に効果的である。

歌唱教材では、ピアノ伴奏の楽譜が掲載されていることによって、生徒の学習をより深め、発展させることが可能なよう工夫されており、また、変声についても、記述に加えて声帯を図示し、

へ音譜表の読み方を学習したうえで混声三部合唱に入るなど、段階を踏んで学習できるよう構成が優れている。

創作活動では、1年から段階的に取り組めるよう構成され、例を参考に模倣しながら教科書に直接書き込める工夫や、民謡の歌唱学習から民謡の音階を使った創作活動につなげるなど、題材構成の系統性・発展性に優れている。

和楽器を含めた伝統音楽の鑑賞については、3年間を通じて声による表現活動に注目して学習活動の積み重ねができるよう工夫されているとともに、箏や尺八の楽譜は古来の縦書き楽譜が掲載されることで、伝統音楽のよさを感じることに繋がっている。

著作権をはじめとする権利関係について、わかりやすく説明されているが、保護期間が国によって異なる記載がなされていないなど、不十分である。

「選定の視点」の評価結果：◎11 ○18 △1

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

観点別資料 ー音楽科（一般）ー

【選定の観点1】

音楽科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○教材ごとに、学習する際の視点「共通事項」が具体的に示されており、また、目次には目標ごとに教材がまとめて掲載されるなど、学ぶ目的がわかりやすい。</p> <p>○教材に関連した写真やイラストが豊富で、特に日本の歌や和楽器に関して理解を深め、イメージが持ちやすいよう工夫されている。</p> <p>○巻末に、音楽の諸記号等についてまとめられた折込ページがあり、どの学年も同じレイアウトで活用しやすく、基礎・基本の定着に有効である。また、教科書のどのページでその記号が扱われているかが記されており、学習の手助けとなっている。</p> <p>○巻末の楽器の口絵は分類や説明がわかりやすく整理され、基礎・基本の定着に役立つ。</p>	<p>○「音楽学習 MAP」や目次において、学習内容の全体像や目標がわかりやすく示されており、また、各教材のページにも目標と学習する際の視点「共通事項」が示されるなど、学習のめあてと見通しがわかりやすく、優れている。</p> <p>○教材に関連した楽器の写真やイラストが豊富に取り上げられている。特に発声に関連した教材は充実した内容であり、基礎的な技能の習得に向け、生徒にわかりやすい。</p> <p>○「ビンゴゲーム」「リズムゲーム」が取り上げられ、小学校での既習事項の確認とともに、3年間を通して、系統立てた学習ができるなど、楽しみながら基礎知識の定着を図ることができる。</p> <p>○巻末に、諸記号等についてまとめられており、レイアウトはシンプルでわかりやすく、生徒自ら必要な記号を調べて学習することができるなど、基礎的・基本的な知識の定着に有効な工夫である。</p>

【選定の観点2】

思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○「共通事項」を手がかりとした学習のポイントが、各教材で複数示されており、自ら思考し、表現する際の助けとなっている。</p> <p>○「聞き比べてみよう」などのコーナーで、教材ごとに楽曲等について考えたことや比較鑑賞したことについて直接書き込む欄が設けられており、言語活動が展開しやすい。</p> <p>○生徒に気付かせたい内容が同じページに書かれているため、思考力や判断力を促す構成となっていない。また、直接書き込む欄も、欄が狭かったり、設けられていない楽曲があるため、言語活動の展開が難しい場合がある。</p>	<p>○教材ごとに、学習目標と具体的な学習活動や手がかりとなる「共通事項」が具体的に示されることにより、思考力・表現力を高める活動のヒントとなっていることに加え、さらに言語活動に展開しやすいよう工夫されるなど、優れている。</p> <p>○鑑賞教材において楽譜や解説とともに、楽曲の特徴や話題等が示されるなど、言語活動を取り入れて興味深く活動できるよう工夫されている。</p> <p>○楽曲と関連付けた問いかけやヒントをキャラクターの吹き出しの形で示すなど、思考力・判断力を高めるとともに、話し合い活動に向けた工夫がなされている。</p>

【選定の観点3】

興味・関心や生活経験に目を向けた題材や内容構成で、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○「A MESSAGE FOR YOU」として、各楽曲の作詞者・作曲者等の言葉が挿入されており、楽曲や詞の背景への理解が深めやすく、生徒自身が興味をもって表現活動に取り組めるきっかけとなる。</p> <p>○口絵等において舞台芸術をまとめて紹介する、ミュージカルの写真を掲載するなど、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>○比較鑑賞や調べ学習の提案、キャラクターを活用した活動ポイントの提示など、問題解決的な学習の展開に向けた工夫がなされている。</p> <p>○鑑賞教材に音楽史と関連付けたインデックスが付されており、自主的な学びを促すために、効果的である。</p> <p>○口絵「風姿花伝」の引用に「京都北山」が、勧進帳の説明に「京都」が取り上げられており、生徒に身近で興味・関心の高まりにつながる。</p>	<p>○作詞者・作曲者の言葉が記述されており、歌い継がれてきた有名な楽曲を次代に継承するための意欲・態度を育む学習活動に効果的である。</p> <p>○鑑賞教材の補助資料として多彩な写真を用いることで、生徒の興味・関心を高めるとともに、自主的な学びへつなげる工夫がなされている。</p> <p>○手がかりとなる共通事項を教材ごとにわかりやすく示す他、教材の解説等にキャラクターを活用し、活動のポイントや課題解決のヒントを示しており、学習活動が楽しく行えるとともに、問題解決的な学習の展開に向けた工夫がなされている。</p> <p>○日本三大祭り「祇園祭」が、山鉦巡行の写真とともに掲載されており、祇園囃子の学習やそれに関する調べ学習が効果的に進められる。また、京都に関しては、福知山音頭や円山公園の紅しだれコンサートも取り上げられるなど充実している。</p>

【選定の観点4】

我が国および諸外国における教育的・芸術的に価値のある楽曲が取り上げられ、音楽のよさや美しさに触れ、豊かな情操を養うことができるよう教材が工夫されていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○歌唱教材・鑑賞教材・創作教材ともバランスよく配置されているとともに、著名な音楽家からのメッセージが掲載されるなど、豊かな情操を養うための工夫がなされている。</p> <p>○「故郷」が各学年の音域に配慮した編曲で3学年に掲載されていることにより、学年ごとに取り組むだけでなく全校合唱として取り組むこともでき、豊かな情操を養うことにつながる。</p> <p>○鑑賞活動では、リード文を示すことで学習内容や学習活動の見通しをつかみやすくするとともに、理解を深めるための手がかりとしての楽譜が多く掲載されるなど、音楽のよさや美しさに触れるための教材が豊富に設定されている。</p> <p>○創作活動では、「旋律をつくる」「音楽の構成やまとまりを工夫する」という2つの内容で3年間を見通した学習が可能な構成となっており、また、リコーダーや和楽器と関連させた教材も提示されるなど、表現活動を通じて音楽のよさや美しさに触れるための教材が工夫されている。</p>	<p>○我が国で歌い継がれてきた有名な楽曲には縦書きの歌詞がすべて掲載されていることにより、音楽のよさや美しさとともに、日本語の美しさやリズム・韻などに触れることができ、学習活動を多彩に展開するため、効果的で優れている。</p> <p>○歌唱教材では、生徒が好んで取り組める教材、合唱コンクール等で取り組める曲、少し難易度が高く意欲を高める楽曲等が、バランスよく選択できるよう工夫されている。</p> <p>○小学校課程からのつながりが意識され、音楽づくりから創作活動へスムーズに移行できるよう配慮されるとともに、創作の手順がわかりやすく示され、図形楽譜などを用いて記譜ができるよう教材が工夫されている。</p> <p>○「夕焼け小焼け」「ふるさと」といった小学校の既習曲を混声合唱に編曲して掲載し、新しい魅力を発見しながら表現することができるよう工夫されている。</p> <p>○鑑賞活動では、多くの教材において聴きどころを写真を活用して提示したり、聴くポイントを「共通事項」と関連させながら簡潔に示したりすることにより、音楽の良さや美しさを味わえるよう配慮されている。</p>

【選定の観点5】

「表現」及び「鑑賞」に関する内容相互の関連が図られるとともに、授業時数に照らして、全体の分量や難易度が適切であること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○日本の伝統音楽では、鑑賞だけではなく、能楽は謡曲とお囃子、越天楽は打楽器、歌舞伎はツケや囃子の体験を盛り込んでおり、表現活動と関連付けて学習できるよう工夫されている。</p> <p>○創作活動のプロセスにリコーダーを取り入れる、箏での表現を盛り込むなど、器楽分野と関連付けながら学習を深めることができる。</p> <p>○歌い継がれた日本の歌やポピュラーソングを含む合唱曲が巻末にまとめられ、学習進度や学校行事等に応じて、柔軟に選択することができるよう配慮されている。</p>	<p>○日本の伝統芸能の扱いが鑑賞のみならず、長唄や謡曲など表現との関連を図り、3年間を通じて声による表現活動に注目したものとなっており、学習活動の積み重ねのため、効果的で優れている。</p> <p>○交響詩と合唱曲を比較鑑賞することで、表現と鑑賞を関連付けた学習が展開できるよう工夫がされている。</p> <p>○幅広い合唱曲が巻末にまとめられ、学習進度に応じた選曲や、学校行事と関連させた指導が柔軟に行えるよう配慮されている。</p>

【選定の観点6】

多様な音楽のよさや美しさを味わうことを通して、我が国や諸外国の音楽文化の豊かさに気づき、尊重する態度の育成を図るとともに、和楽器を含めた伝統音楽への関心を育てるよう配慮されていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○古くから歌い継がれている歌曲について、情景を具体的にイメージしやすい写真が豊富に用いられるとともに、様々に編曲して掲載されるなど、異なる味わいを感じられるよう工夫されている。</p> <p>○日本とアジアの音楽や楽器の関連に触れることで、多様な音楽文化の豊かさに気づくよう工夫されている。</p> <p>○民謡や伝統音楽について、地方のものが積極的に取り上げられ、音楽文化の多様さや豊かさに気づかせるよう配慮されている。</p> <p>○雅楽の楽器が大きくわかりやすく掲載され、また勸進帳のあらすじが写真と共にわかりやすく掲載されるなど、和楽器や伝統音楽への関心・理解を深める工夫がされている。</p> <p>○創作活動で箏を使ったり、こきりこ節でこきりこの演奏を扱ったりして、和楽器への関心を高めている。</p> <p>○「君が代」は、楽譜・歌詞・解説・関連写真が掲載されている。</p>	<p>○古くから歌い継がれている歌曲について、歌詞や関連する写真が掲載されており、その背景を理解して味わうことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○アジア諸民族の音楽と世界の諸民族の音楽を系統立てて鑑賞できるよう取り上げることで、音楽文化の豊かさを学習できるよう工夫されている。</p> <p>○日本の民謡について、47都道府県を代表する民謡や祭囃子が掲載されており、世界の民族音楽も同じページに世界地図で示すなど学習活動の展開の工夫がされ、世界の音楽文化の多様さや和楽器を含めた伝統音楽への興味・関心を高める工夫が優れている。</p> <p>○箏の楽譜について、古来の縦書き楽譜が掲載されており、伝統音楽のよさを感じ、関心を高めるため、効果的である。</p> <p>○西洋のオペラと日本の歌舞伎を総合芸術という視点で関連付けて鑑賞できるなど、多様な音楽の素晴らしさや音楽文化を感じとれるよう工夫されている。</p> <p>○「君が代」は、楽譜・歌詞・簡単な歌詞の大意が掲載されている。</p>

【選定の観点7】

生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○舞台芸術やポピュラー音楽、音楽療法、ミュージカルなどを幅広く掲載することで、身近な音楽を意識させるとともに、生活と音楽との結びつきや音楽が人生を豊かにすることを気づかせるよう十分に配慮され優れている。</p> <p>○「共通事項」をヒントとした活動のポイントが「工夫してみよう」として全歌唱教材に示され、意見を交わしながら表現を工夫していく活動から発展的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○「Let's try」や「チャレンジ」などの発展的な内容について、生徒個々ではなく集団で取り組む課題を提示している。</p> <p>○「日本と西洋の音楽の歩み」では歴史年表のように時代の特徴がわかりやすくまとめられており、探究的・発展的な学習につなげやすい。</p>	<p>○「心ときめく音楽との出会い」と題して、音楽と生活との関わりが紹介されたり、「静けさと日本の音」として寺社の鐘の音を取り入れたりして、身近にある音楽を様々な角度から聴くことを伝え、将来にわたって音楽に親しむためのきっかけとなる工夫がなされている。</p> <p>○各教材に具体的な活動方法や手順とともに、吹き出しによる活動のヒントが提示されるなど、他者と意見を交わし協力しながら学習を深める工夫がなされている。</p> <p>○「耳でたどる音楽史」は、文章での説明をあえて少なくし、写真と代表的な楽曲を鑑賞することによってその時代の特徴を感じ取ることができるよう工夫され、探究活動や発展的な学習につなげやすい。</p>

【選定の観点8】

題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○創作活動について、「旋律をつくる」「音楽の構成やまとまりを工夫する」という2つの内容を軸に3年間を通して系統立てた学習ができるよう設定が工夫されている。</p> <p>○小学校では二部合唱だった曲を、中学校では混声三部として扱ったり、英語で歌唱させたりするなど、小中の接続と関連に配慮しながら、学習をさらに深める工夫がされている。</p> <p>○日本の伝統音楽・芸能や諸外国の民族音楽にも親しみやすい記述がされ、写真やイラストでより具体的なイメージが持てるよう配慮されるなど、総合的な学習の時間をはじめ、国語科や社会科等と関連が図れるようになっている。</p> <p>○「私たちのくらしと音楽」では、インターネットや音楽療法等の生き方探究（キャリア）教育と結びつく情報や資料が掲載されている。</p> <p>○「箏を弾いてみよう」など演奏活動を取り入れ、器楽との関連が図られている。</p>	<p>○創作活動について、1年から段階的に取り組めるよう構成されるとともに、例を参考に模倣しながら教科書に直接書き込めるなどの工夫が随所にみられるなど、題材構成の系統性・発展性に優れている。</p> <p>○民謡の表現（歌唱）の学習から、民謡で使われている音階を使った創作活動につなげるなど、学習の系統性・発展性に工夫がみられる。</p> <p>○「夕焼け小焼け」「ふるさと」など小学校での既習曲を混声合唱に編曲して掲載し、地域活動でのお年寄りとの触れあいや、他国の人との交流・行事等で使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○多彩な日本の伝統音楽・芸能を取り上げ、諸外国の民族音楽との関連も学びやすい構成である。また、日本における西洋音楽の歴史の特集を組むなど、社会科の学習事項との共通点も多い。</p> <p>○多くの学校で取り組んでいる合唱コンクールで歌われる合唱曲が、生徒の発達に合わせて、定番の曲から新曲まで幅広く取り上げられている。</p>

【選定の観点9】

基本的な人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○変声について、音域を楽譜で示し、混声三部合唱の形態と声の種類に関連付けてわかりやすく説明するなどの配慮がなされている。</p> <p>○友達（仲間）との関係や、これからの明るい未来や希望を歌った曲が多く選曲されるとともに、日本の自然や四季の美しさを感じ取れる教材、日本の文化や日本語のもつ美しさを味わえる楽曲、和楽器をはじめとする伝統音楽の取り扱いなど、人権教育や道徳教育との関連が図られている。</p> <p>○著作権の問題について、保護期間50年が国によって異なることなども含め、生徒目線のわかりやすい説明がなされている。また、掲載されている写真も出典が明らかにされている。</p>	<p>○変声について、記述に加えて声帯を図で示し、ヘ音譜表の読み方を学習した上で混声三部合唱に入るなど、段階を踏んで学習できるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○友達（仲間）との関係や、これからの明るい未来や希望を歌った曲が数多く選曲されており、また、命の尊さを趣旨とする曲や、伝統的な音楽や歌い継がれてきた日本の歌など、人権教育や道徳教育との関連が図られている。</p> <p>○著作権をはじめとする権利関係について、わかりやすく説明されているが、<u>保護期間50年は日本のことであり、国によって異なる記載がなされていない</u>。写真や絵画には、出演者や団体、作者が明記されている。</p>

【選定の観点10】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

発行社名	
17 教出	27 教芸
<p>○レイアウト、配色、イラストなどについて、曲をイメージしやすいよう工夫されているとともに、ユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○四季の美しさを感じる写真が多彩に掲載され、日本の伝統音楽や和楽器も写真や挿絵を多く用いることでイメージをふくらませて学習を深めることができる。</p> <p>○折込みページが豊富で、全体的に写真や楽譜が大きく、余白が十分にとられるなど、支援が必要な生徒にも使いやすく見やすい。</p> <p>○再生紙と植物油インキを使用し、造本も丈夫である。</p> <p>○吹き出しの改行が「いろ/いろ」「声/に出して」のように文節の途中になっているところがあり、<u>支援が必要な生徒には理解しにくい</u>。</p>	<p>○レイアウトはシンプルで無駄な装飾がなく、配色などユニバーサルデザインに配慮されており、支援が必要な生徒にも使いやすく、すべての生徒が先入観をもたず自由な発想をもつことが可能なような構成となっており、優れている。</p> <p>○ピアノ伴奏譜を併記している楽曲が多く、指導者には使用しやすく、生徒にとってピアノ伴奏を意識しながら学習しやすい点も他社と比較して優れている。</p> <p>○鑑賞教材や歌い継がれている曲で取り上げられている写真は色が美しく、見やすい。</p> <p>○再生紙を使用し、造本も丈夫である。</p>

音楽科(一般)

観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の柱		選定の観点		選定の視点		教育出版	教育芸術社
1	基礎的・基本的な知識・技能	1	音楽科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	学習目標や共通事項の明示	○	◎
				2	効果的な写真やイラスト、図、表など	○	○
				3	楽典や鑑賞資料に関する記述	○	○
				4	発声や歌い方、楽器に関する記述	○	◎
2	思考力・判断力・表現力等	2	思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。	1	共通事項と学習内容の明示と関連付け	○	◎
4				言語活動の充実	△	○	
3	学習意欲	3	興味・関心や生活経験に目を向けた題材や内容構成で、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。	1	主体的な学習を促す工夫	○	○
5	生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)			2	問題解決的な学習活動の展開	○	○
				3	京都に関わる内容	○	◎
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	4	我が国および諸外国における教育的・芸術的に価値のある楽曲が取り上げられ、音楽のよさや美しさに触れ、豊かな情操を養うことができるよう教材が工夫されていること。	1	歌唱活動・創作活動・鑑賞活動の教材の充実	○	○
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	5	「表現」及び「鑑賞」に関する内容相互の関連が図られるとともに、授業時間に照らして、全体の分量や難易度が適切であること。	2	表現活動への展開の工夫	○	◎
				1	表現活動と鑑賞活動の関連	○	◎
4	言語活動の充実	6	多様な音楽のよさや美しさを味わうことを通して、我が国や諸外国の音楽文化の豊かさに気づき、尊重する態度の育成を図るとともに、和楽器を含めた伝統音楽への関心を育てるよう配慮されていること。	1	日本の歌曲の取扱い	○	○
				6	各教科独自の観点・他教科等との関連	2	世界の音楽に関わる教材の充実
3	生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)			3	伝統的な音楽に関わる教材の充実	○	○
				4	和楽器に関わる教材の充実	○	◎
5	生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)	7	生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。	1	生活と音楽との関連	◎	○
				2	問題解決的な学習・探究活動へつながる工夫	○	○
				3	発展的な学習活動へつながる工夫	○	○
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	8	題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究(キャリア)教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。	1	題材構成や発展性を配慮した教材配列	○	◎
				2	他校種との関連	○	○
				3	他教科や行事等との関連	○	○
7	基本的人権の尊重・道徳性の育成	9	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	変声の扱いと発達段階への配慮	○	◎
				2	人権教育・道徳教育の推進	○	○
				3	著作権についての記述	◎	△
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	10	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。	1	文字や楽譜、写真、図表、挿絵の色や大きさ等	○	◎
				7	基本的人権の尊重・道徳性の育成	2	装丁や紙面のレイアウト
3	生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)			3	堅牢な造本	○	○
				4	ユニバーサルデザインの視点	○	○